

中国四国学生会講演会論文原稿の書き方

Information for contributors

◎正 機械 一郎（機械大）， ○学 広島 二郎（機械大）

Ichiro KIKAI, Kikai University, 1-2-3 Takaya, Higashi-Hiroshima, Hiroshima, 739-0000 Japan

Jiro HIROSHIMA, Kikai University, 1-2-3 Takaya, Higashi-Hiroshima, Hiroshima, 739-0000 Japan

Key Words: Manuscript, Format, Font, Title, Authors' Names

1. 原稿のフォーマットの概要および原稿の長さ

用紙は「A4 縦置き」としてください。余白は、「上が 20 mm」，「下が 25 mm」，「左右が各 15 mm」としてください。

本文は，2 段組とし，中央に 10 mm の空白を設けてください。文字数・行数は標準的な設定にしてください。

本文の各段落の先頭は，1 文字分「字下げ」してください。本文および図表の文字サイズは 9 ポイントとし，本文中の文字のフォントは，明朝体・Serif 系（Century, Times New Roman など）を利用し，章節項については，ゴシック体を使用してください。

句読点については，読点として全角のカンマ「，」を，句点として全角のピリオド「。」を使用してください。

原稿の長さは 2 頁程度とし，原稿にページは記入しないでください。

論文原稿は，フォントを埋め込んだ PDF ファイルで提出してください。ファイルサイズはなるべく 2 MB 以下にしてください。PDF ファイルに埋め込まれたフォントは，PDF ファイルを開き，「ファイル→プロパティ→フォント」で表示できます。

2. 表題や著者名の書き方

1 行目には「講演番号」を「半角・Arial フォント相当・12 ポイント・10 mm 字下げ」で記入してください。

2 行目には「邦文表題」を「MS 明朝フォント相当・14 ポイント・中央寄せ」で記入してください。

3 行目には「英文表題」を「Times New Roman フォント相当・12 ポイント・中央寄せ」で記入してください。

4 行目は「空白行」にしてください。

5 行目から「邦文氏名」を書いてください。「MS 明朝フォント相当・10 ポイント・中央寄せ」で記入してください。なお，上の例のように，氏名の左には会員資格を正・学のように書き添え，氏名の右には所属を丸かっこで囲んで略記してください。また，連名の場合には，講演発表者の前に○印をつけてください。さらに，「卒業研究発表講演会」の場合には，指導教員の前に◎印をつけてください。

邦文氏名の下には，「英文氏名および所属機関の名称と所在地」を「Times New Roman フォント相当・10 ポイント・中央寄せ」で記入してください。英文氏名には，氏名の前の○印や◎印は不要です。

英文氏名および所属機関の名称と所在地の下には「1 行空白行を入れ」，その下に「キーワード」を 5 つ以内，「Times New Roman フォント相当・9 ポイント・中央寄せ」で記入してください。

3. 図および表の書き方

3.1 図の書き方

本文中では，図 1 のように日本語で書いてください。図のキャプションは，図の下部に英文で記載してください。また，図は英文で作成してください。講演論文は USB で配布しますので，図はカラーでも構いません。

3.2 表の書き方

本文中では，表 1 のように日本語で書いてください。表のキャプションは，表の上部に英文で記載してください。また，表は英文で作成してください。表の体裁については，機械学会論文集を参考にしてください。

表は，MS Word の作表機能を使って作成するか，画像ファ

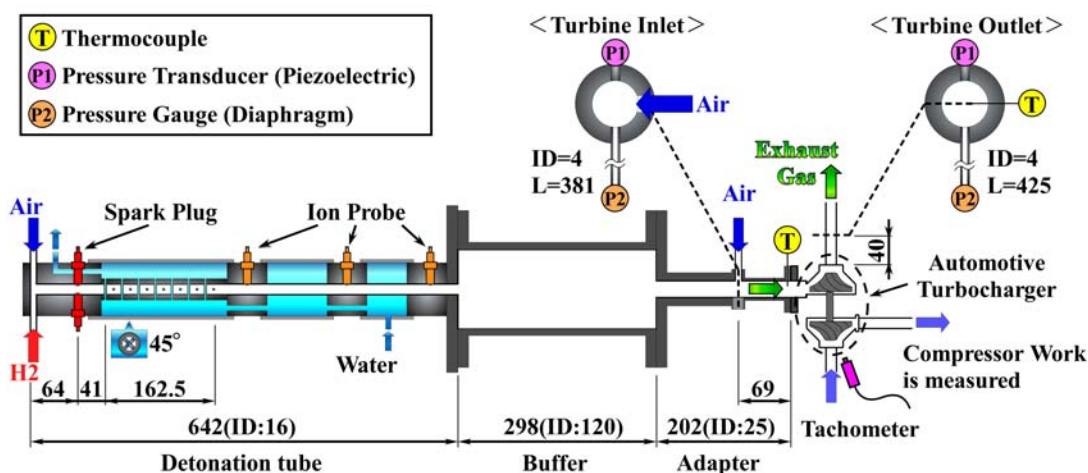


Fig. 1 Experimental arrangement.

Table 1 Experimental conditions.

Operation frequency (Hz)	Operation time (min)	Gas-supply pressure (MPa)		Equivalence ratio	Fill fraction of the detonable gas in the detonation tube
		Air	H ₂		
60	10	0.64	0.42	1.1	< 0.74
10	20		0.35	1.0	0.74 - 0.93

イルとして貼り付けるか、いずれでも構いません。

4. 引用文献の書き方

引用文献については、本文中の引用箇所の右肩に小括弧をつけて、通し番号を書いてください。例えば、新宿・渋谷⁽¹⁾⁽²⁾のように書いてください。引用文献は、本文末尾に番号順にまとめて書いてください。その際、日本語の文献を引用する場合は日本語表記とし、英語の文献を引用する場合は英語表記とし、引用文献の書き方の詳細については、機械学会論文集を参考にしてください。

5. その他

講演会で発表される論文は、アブストラクトが JST データ

ベースに収録されます。ただし、「卒業研究発表講演会」に関しては、これに該当しません。

謝辞

本講演会は、〇〇〇の補助により開催いたします。

文献

- (1) 新宿太郎，渋谷二郎，“論文の書き方”，日本機械学会論文集 A 編，Vol. 52, No. 485 (1987), pp. 111-116.
- (2) Keer, L.M., Knapp, W., and Hocken, R., “Resonance Effects for a Crack Near a Free Surface”, Transactions of the ASME, Journal of Applied Mechanics, Vol. 51, No. 1 (1986), pp. 65-69.